

令和5年度 第2回

竜禅寺小学校 学校運営協議会



【運動会】



【1年生・6年生ペア交流】

令和5年7月10日（月）15時00分～

浜松市立竜禅寺小学校

第2回竜禅寺小学校運営協議会

令和5年7月10日 15:00~16:30 : 会議室

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

1 始めの言葉

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長の選出 ※前回の終わりに北井さんにお願いすることになりました。

5 前回会議録確認

6 熟議 <議長:北井、記録:富田・佐々木>

(1) 各学年の教育活動について

各学年から実践内容の紹介と今後の充実に向けて

①1年生

②2年生

③3年生

(2) 教育活動の充実に向けて(課題とその解決に向けて)

①読み聞かせボランティア

②その他

7 報告 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

学校支援コーディネーターから

8 連絡 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

(1) 次回開催 令和5年11月17日(金) 15:00~16:30

(2) " 議長の確認

(3) " 内容の確認

(4) その他 ※学校より

9 終わりの言葉

閉会

第1回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会長	倉重 建朗(くらしげたけお)
副会長	北井 実香(きたいみか)
委員	寺田 成一(てらだしげかず)
委員	松本 直己(まつもとなおき)
委員	新井 和美(あらいかずよし)
委員	加藤 京子(かとうきょうこ)
委員	高須 道男(たかすみちお)
委員	柳川 春彦(やながわはるひこ)
委員	鈴木 宏幸(すずきひろゆき)

学校

校長	水野敦司(みずのあつし)
教頭	佐々木和也(ささきかずや)
教務主任	松井 康子(まついやすこ)
CS担当教職員	富田みゆき(とみたみゆき)
CSディレクター	中村 朝実(なかむらあさみ)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子(すずきようこ)
-------	---------------

校内参観メモ

吉南田会館耐震改修工事回数

員会会場内装工事

(はや式や) 順転 重良	員会
(山城式吉) 香美 共非	員会場
(市道式) 一郎 田幸	員会
(吉武式吉) 五郎 本吉	員会
(風葉式) 美咲 祐福	員会
(こそん吉式) 守京 麻城	員会
(ささみ式) 肥直 隆高	員会
(にむき式) 改之助 斎藤 川原	員会
(吉奈式吉) 伸延 不前	員会

会場

(JC式の本) 岩瀬木	員会
(みゆき式) 由峰木又	員会
(こすり式) 子順 本野 朝生野	員会
(吉田式) 信吾 吉田義 田原 田原義	員会
(あらか式) 伸也 永植 伸也	員会

会員室有志市川

(うとう式) うとう 木下	会員室有志市川
---------------	---------

7月10日(月)の時間割と日課

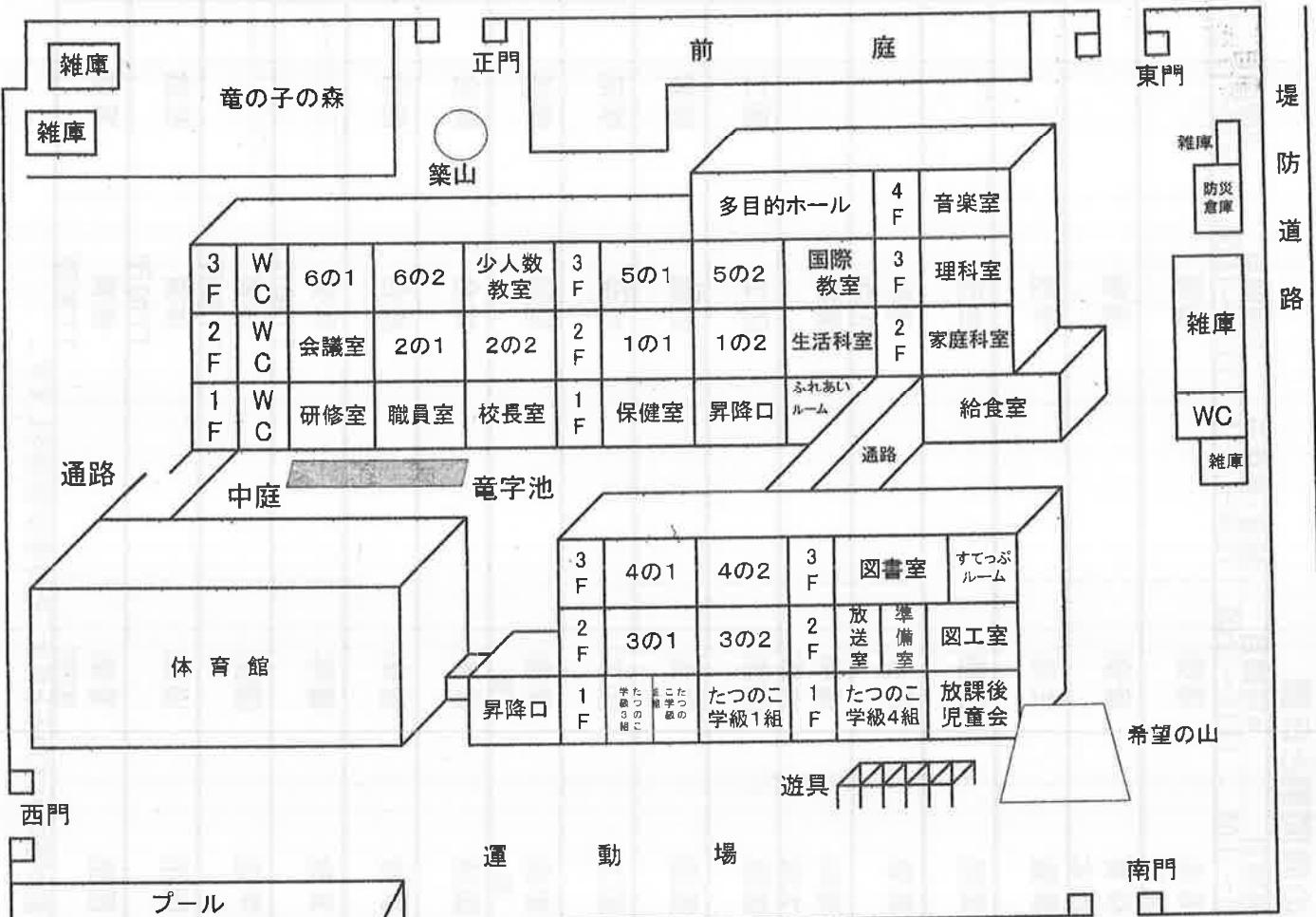
学年・組	担任名	朝の会・Sタイム 8:00～8:25	1時間目 8:30～9:15	2時間目 9:25～10:10	3時間目 10:20～11:05	4時間目 11:15～12:00	給食・屋休み 12:00～13:15	5時間目 13:15～14:00	6時間目 14:10～14:55
1年1組	橋本		国語		算数	音楽 畠田	道徳		書写
1年2組	畠田		算数	国語		音楽	道徳		
2年1組	石塚		国語	書写 加茂	算数	体育 橋本		学活	
2年2組	木賀		書写	算数	国語	国語	生活		
3年1組	大場		国語	国語	算数	社会		理科	
3年2組	菅		国語	国語	理科 大塚	理科 大塚		大塚	算数
4年1組	藤村		理科	算数	国語	国語		図工	
4年2組	小名木			算数	国語	国語	社会	道徳	体育
5年1組	平野			算数	理科 大塚	国語	図工	社会	学活
5年2組	坂口			算数	国語	家庭 菅	家庭 菅	理科	学活
6年1組	近藤			算数	音楽 尚子	国語	体育	総合	総合
6年2組	尚子				国語	体育 近藤	音楽	総合	総合
たつこの1	美晴		自立	国語		算数	書写	体育 加茂	
たつこの2	水口			算数	国語	学活	国語	体育 加茂	体育 加茂
たつこの3	幹恵		自立		算数	国語	道徳	体育 加茂	社会
たつこの4	塩崎		学活	家庭	国語	音楽 加茂		体育 加茂	算数

※授業は基本的に担任が行いますが、教科名の下に名前が記されています。

※教科には変更になる場合があります。

※TTOOと記されている時間には、担任とその者の2名で授業を担当します。

校舎・教室配置図



職員組織

校長	水野 敦司
教頭	佐々木和也
教務主任	松井 康子
研修主任	鈴木 尚子
生徒指導主任	坂口 陽介
発達支援教育コーディネーター	塩崎 弘治
道徳教育推進教師	藤村さとみ
特別活動主任	橋本 幸蔵
キャリア教育推進委員	近藤 仁志
情報教育推進員	鈴木 幹恵
学校防災リーダー	加茂 尚弘
外国人児童指導	広瀬サユリ
養護教諭	北島 範子
事務職員	福田 知弘
給食員	鈴木 千尋 谷中理恵子
用務員	伊堂 真一 杉本 鉄次

学年・学級編制及び児童数

R5.7.4現在

1年					2年						
組	担任	男子	女子	計	組	担任	男子	女子	計		
1	橋本 幸蔵	13	12	25	1	石塚 智香	14	14	28		
2	富田みゆき	14	11	25	2	木賀 嶽人	15	15	30		
学年合計					学年合計						
3年					4年						
1	大場愛菜美	14	10	24	1	藤村さとみ	13	15	28		
2	菅 麻美	13	12	25	2	小名木克之	13	15	28		
学年合計					学年合計						
5年					6年						
1	平野 操	16	11	27	1	近藤 仁志	11	14	25		
2	坂口 陽介	16	11	27	2	鈴木 尚子	13	13	26		
学年合計					学年合計						
発達学級											
たつのこ1	鈴木 美晴	6	1	7	たつのこ3	鈴木 幹恵	4	1	5		
たつのこ2	水口 享大	4	1	5	たつのこ4	塩崎 弘治	4	1	5		
級外					たつのこ合計						
松井康子、広瀬サユリ 加茂尚弘、大塚昌弘 増田千寿乃					18 4 22						
					全校合計						
					183 157 340						
初任研特例校指導教員経歴 池谷 裕之	外国人児童生徒就学支援員 宮川 恵	外国人児童教科指導員 中津川啓三	小規模小学校支援員 久野 裕子	スクールヘルパー 大力 典子	発達支援教室支援員 鈴木 真代	学習支援員 三浦千佳代	理科支援員 田中 保美	図書館補助員 鈴木 美樹	パート給食員 西田 澄恵 明美	校務アシスタント 中村 朝実	ALT ・エリン・ジャン

各学年の発表メモ

1年生

課題等

2年生

課題等

3年生

課題等

令和5年度 第1回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月28日（金） 15時00分から16時45分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 寺田 成一、松本 直己、柳川 春彦、加藤 京子、鈴木 宏幸
高須 道男、倉重 建朗、新井 和美、北井 実香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）富田 みゆき（CS担当教員）
- 6 教育委員会なし
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 協議事項
 - (1) 会長、副会長の選出について
 - (2) 議長の選出について
 - (3) 学校運営の基本方針、児童に育てたい力について
 - (4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
 - (5) 竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について

10 会議記録

委員総数9名のうち9名の出席があり、過半数を超えていたため、会議が成立している確認をした。

(1) 会長、副会長の選出について

司会から、会長の選出について話があり、倉重委員に会長をお願いすることに満場一致で決定した。副会長については、倉重会長から北井委員にお願いしたいとの声が上がり、全員異議なくこれを承認した。

また、倉重会長から挨拶の中で、本年度の竜禅寺小学校運営協議会目標を決めたいという発言があり、協議の結果以下の二つに決定した。

- ・学校行事や授業等を積極的に参観し、学校の実態を知ろう。
- ・学校運営協議会の役割を正しく理解していこう。

(2) 議長の選出について

議長について、北井副会長にお願いする声が上がり承認された。

(3) 学校運営の基本方針、児童に育てたい力について

学校運営の基本方針について、水野校長から説明があり、委員からは以下の意見が出された。

- ・とても子供に寄り添った良い計画だと思う。子供たちが友達と仲良くできることはいじめ減少に直結する。運営協議会の活動も基本方針に近づいていきたい。（高須委員）

- ・子供たちの様子から、努力を続ける事で苦しさを乗り越えられるという経験が欠如しているのではないかと感じられる。(松本委員)
- ・一つのことを終えてしまうと満足してしまい、その次の目標が持てない子供が多いと感じている。(校長)
- ・このような問題の解決にもつながると思うので、ぜひ基本方針に示された取組を進めていってほしい。しかし、子供たちに無理強いをしてはいけないとも思う。(松本委員)

協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

夢育やらまいか事業の学校運営協議会設置校加算分に対する意見書について、教頭から説明があり、以下の質疑応答後に全員から承認された。

- ・様々な職種の方との触れ合いを通して、いろいろな世界を見せてあげられればと思う。(高須委員)
- ・毎年、来てくださっている方もいるが、その他にも学校へお招きできそうな方がいらっしゃったら、ぜひ御紹介していただきたい。(校長)
- ・委員の中でもできる者がいたら、ぜひお願ひをしたい。(高須委員)

(5) 竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について

昨年度末に定められた、『竜禅寺小学校いじめ防止基本方針』について坂口教諭より説明があり、以下の質疑応答があった

- ・いじめに関して、電話だけで家庭への連絡をしていると、被害者側が話を大きく感じてしまうことはないか。保護者と先生方と顔を合わせて話をするのが効果的であると思う。電話だけでは状況が通じないこともあります。そのことが原因で、更なるいじめにつながってしまうとも思う。各学校にいる専門家(いじめコーディネーター等)が家庭へ連絡することもよいのではないか。いじめの情報を得たら校内で話し合い、その上で保護者へ連絡してはどうか。いじめの解消に向けて、子供一人一人が自己肯定感を持つてほしいし、学校は保護者と向き合ってほしい。(高須委員)
- ・保護者同士がつながり、ある特定の子供を非難しているのはとても怖いことである。(松本委員)
- ・保護者同士の仲違いがいじめの原因となっていることもある。いじめを察知したならば、保護者に来校を促し、まずは顔を合わせて何人かで対応することが大切だと思う。先生や保護者がいないところでのいじめは分かりにくいので、どうやってそれを見付けていくのかも肝要である。(新井委員)
- ・いじめの実態が分かった時点で、すぐに対策委員会を開き相談し組織で対応していく。(校長)
- ・マニュアルも大切であるが、そのとおりいかないことが多いので、参考にしながらも臨機応変に対応してもらいたい。(新井委員)

- ・対応の様子が分かりやすくなっている。(倉重委員)
- ・昨年度、いじめへの対応は126件であった。小さなことでも組織で対応し、市へ報告している。全職員がアンテナを高くし、被害者が「いじめ」だと思ったら、それらを全て対策委員会では「いじめ」として認知していく方針である。(坂口教諭)
- ・アンケートもいじめの実態を知る情報源となっているか。(倉重委員)
- ・もちろん、それは有効かつ重要な情報源である。そればかりではなく、子供からの通報も大切な情報源となっていて、全職員が子供たちの声に耳を傾けている。(坂口教諭)
- ・いじめに関わる重大な事案は報告されていないか。(倉重委員)
- ・本校では、本年度は今のところ、重大事案(いじめ原因となった不登校)は発生していない。(坂口教諭)
- ・いじめに関して、何度も名前が挙がるような子供はさみしがり屋ではないかと考えている。子供と保護者との関わりが大切なのだと思う。(新井委員)
- ・原因が何であれ、いじめという行為は決して許されるものではない。しかし、慎重にいじめの裏を探っていく必要はある。(坂口教諭)
- ・LGBTの子供が見受けられたらよく見てほしい。(松本委員)
- ・グループ活動を仕組むとクラスの人間関係が分かりやすい。早めの対応がとにかく大切だと思う。いじめは〇(ゼロ)にはならないものなので、とにかく早く察知し対応してほしい。(高須委員)
- ・今後も、子供に寄り添って指導、支援をしていく。(校長)

1.1 報告事項

- ・次回の学校運営協議会は令和5年7月10日(月)午後3時から会議室にて開催される。
- ・次回議長について、倉重会長から北井副会長にお願いしたい旨の発言があり、全委員より承認された。
- ・読み聞かせボランティアの募集を次回の議題として取り上げたいとの発言が学校側からあり、全委員の了解を得た。

令和5年度 浜松市「青少年の表彰」実施要項

1 趣 旨

さまざまな困難を克服し、自己中心に陥ることなく他者や社会のために地道に努力している青少年、青少年団体（グループ）の諸活動を賞賛し、奨励することで、青少年の健やかな成長に資するため、「青少年の表彰」を実施します。

2 表彰の対象

(1) 対象者

市内に居住する25歳未満の青少年

市内で活動する主に25歳未満の青少年で構成される青少年団体

(2) 対象となる活動

推薦書提出までの間に常時又は定期的に継続して行われた活動、あるいは人命救助等、機に応じてとった行為で、次の区分に該当するもの

ア 奉仕活動

地域・施設・学校・職場などの公共のために、経済的な見返りを求めることなく自発的に行なった環境美化、社会福祉、事故防止などの活動

イ 環境改善活動

公衆衛生の普及、公共物や自然・文化財の愛護、生活改善などで実績を挙げた活動

ウ 文化・体育活動

明るいまちづくりや、学校・職場づくりなどに大きく貢献した文化・体育活動、郷土芸能の伝承活動、発表等を通じ地域を活性化する活動

エ 育成指導活動

青少年の育成指導、青少年団体の組織等に特に尽くした活動

オ その他の活動

ア～エにあてはまらないが、この事業の趣旨から見て表彰することが適当な活動

3 表彰の種類

(1) 善行賞

特に顕著な善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

(2) 善行奨励賞

善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

4 推薦手続き

推薦者は、「青少年の表彰」推薦書に必要な事項を正確かつ具体的に御記入していただき、直接又は郵送にて浜松市こども家庭部次世代育成課青少年育成センターへ御提出ください。

※推薦書の様式は、浜松市のホームページからもダウンロードできます。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

子育て・教育 → 子育て・青少年・若者 → 浜松市青少年育成センター →
浜松市「青少年の表彰」

5 提出先 浜松市こども家庭部 次世代育成課 青少年育成センター

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目2番1号

イーステージ浜松オフィス棟7階

TEL 053-457-2418

6 推薦締切

令和5年9月13日（水）必着

7 審査並びに表彰

(1) 審査

善行賞及び善行奨励賞を決定します。

(2) 表彰

善行賞受賞者（団体）には表彰式にて市長が表彰状と楯を贈ります。（表彰式は12月頃を予定）

善行奨励賞受賞者（団体）には表彰状を贈ります。

(3) 発表

審査の結果は公表するほか、推薦者・受賞者（団体）の双方に通知します。受賞者が児童・生徒の場合は、所属学校を通して通知します。

8 令和4年度までの推薦・表彰件数（参考）

年度	善行賞 表彰件数				善行奨励賞 表彰件数				推薦件数		
	回	個人	団体	合計	回	個人	団体	合計	個人	団体	合計
S45	1回	5	7	12					5	7	12
S46	2回	3	6	9					3	6	9
H27	46回	8	7	15	15回	2	8	10	10	15	25
H28	47回	7	12	19	16回	12	5	17	19	17	36
H29	48回	6	6	12	17回	17	4	21	23	10	33
H30	49回	9	6	15	18回	6	5	11	15	11	26
R1	50回	10	8	18	19回	10	3	13	20	11	31
R2	51回	6	10	16	20回	9	1	10	15	11	26
R3	52回	10	5	15	21回	6	3	9	16	8	24
R4	53回	18	5	23	22回	33	3	36	51	8	59
合計		322	361	683		214	169	383	606	648	1,254

静岡県青少年育成会議「青少年団体等の顕彰」実施要綱

制定	昭和46年4月 1日
改正	平成13年7月19日
改正	平成18年7月13日
改正	平成20年3月 6日
改正	平成29年4月18日

1 趣旨

次代を担う青少年が健康で心豊かに育つことは、すべての県民の願いである。そこで、日ごろ地域で地道に優れた活動を展開し、明るく住みよい地域づくりに貢献している青少年団体・個人及び青少年指導者団体・青少年指導者を顕彰し、その活動を奨励するとともに、広く一般に紹介することにより本県青少年の健全育成に資する。

2 主催

静岡県青少年育成会議

3 表彰対象

活動の内容が公共性に富み、顕著な功績があるもので、次の(1)～(4)に掲げるそれぞれの部門の基準を満たす団体及び個人を表彰対象とする。

(1) 青少年の部

以下の基準をすべて満たす者。

- ア 静岡県内に居住し、30歳未満（推薦締切日現在）である。
- イ 過去に同一部門の表彰を受けたことがない。
- ウ 別表の「青少年の部」のいずれかに該当する活動に、2年以上継続して取り組み、率先して実践するなど他の模範となっている。

(2) 青少年団体の部

以下の基準をすべて満たす団体。

- ア 静岡県内に所在する団体で、構成員の半数以上の者が30才未満（推薦締切日現在）である。
- イ 過去に同一部門の表彰を受けたことがない、又は、過去に同一部門の表彰を受けた日から10年を経過（推薦締切日現在）している。
- ウ 別表の「青少年団体の部」のいずれかに該当する活動に、2年以上継続して取り組んでいる。

(3) 青少年指導者の部

以下の基準をすべて満たす者。

- ア 静岡県内に居住している。
- イ 過去に同一部門の表彰を受けたことがない。
- ウ 別表の「青少年指導者の部」のいずれかに該当する活動に、5年以上継続して取り組み、率先して実践するなど他の模範となっている。

(4) 青少年指導者団体の部

以下の基準をすべて満たす団体。

- ア 静岡県内に所在する団体で、静岡県内で活動している。
- イ 過去に同一部門の表彰を受けたことがない、又は、過去に同一部門の表彰を受けた日から10年を経過（推薦締切日現在）している。
- ウ 別表の「青少年指導者団体の部」のいずれかに該当する活動に、5年以上継続して取り組んでいる。

4 推薦方法

静岡県青少年育成会議の参加団体の長・県庁内関係各課（室）長・各市町教育委員会教育長・国公立学校の長及び私立学校等の長は、静岡県青少年育成会議事務局（静岡県教育委員会社会教育課内）に候補についての別に定める推薦書を提出する。

5 選考、発表及び表彰

(1) 選考

静岡県青少年育成会議事務局内に選考委員会を構成し、選考を行う。

(2) 発表

選考の結果は、推薦者を通じて被推薦団体、被推薦者に通知する。

(3) 表彰

表彰は、原則として「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会」の席上で行う。

6 その他

(1) 表彰数の限度は設けない。

(2) この要綱の実施に関し必要な事項は別に定める。

別表

部門	活動内容
青少年の部	<ul style="list-style-type: none">・青少年のボランティア活動等の社会参加活動・児童、高齢者、障害者福祉等、地域の福祉向上の活動・地域の環境浄化・美化等、明るく住みよい地域づくりの活動・伝統文化の継承や振興、新しい地域文化の創造等、地域文化向上の活動
青少年団体の部	<ul style="list-style-type: none">・地域住民のふれあい（まつり、スポーツ、レクリエーション等）、地域連帯づくりの活動・国際的な協力活動、国際理解を深めるための活動・その他、新たな地域課題に取り組み、特に成果をあげている活動
青少年指導者の部	<ul style="list-style-type: none">・青少年団体の組織づくりとその育成指導に貢献し、特に成果をあげている活動
青少年指導者団体の部	<ul style="list-style-type: none">・青少年の保護・育成・指導等に貢献し、特に成果をあげている活動

浜松市立竜禅寺小学校 創立 100 周年を迎えるにあたって

浜松市立竜禅寺小学校は大正 14(1925) 年 2 月、龍禅寺町 844 番地に浜松南尋常高等小学校分教場として新設されました。4 月には、独立して浜松龍禅寺尋常小学校と命名されました。その後、大戦を経る中で校名を何度も変更しましたが、昭和 22(1947) 年浜松市立竜禅寺小学校となりました。そして、令和 7(2025) 年 2 月には創立 100 周年を迎えることとなります。

記録によると、これまでの周年記念事業は下記のように行われてきたようです。

周年	実施年・月	実施事業等
10		
20		
30	1956(昭 31)・1月	・記念誌の発行 ・航空写真撮影 ・二宮金次郎像建立
40		
50		
60	1985(昭 60)・2月	・PTAを中心とした記念式典の開催 ・記念誌の発行 ・アスレチックの製作と寄贈 ・記念講演会(浜松商業高等学校長 浅川脩治 氏)
70		
80	2004(平 16)・10月	・記念誌の発行 ・記念講演会(ジュビロ磐田監督 鈴木政一 氏) ・サッカー教室 ・航空写真の撮影
90	2014(平 26)・11月	・クリアファイル作成 ・記念式典 ・記念行事(紙芝居)
100	2024(令 6)年度	

来年度、地域の方々や保護者とともに浜松市立竜禅寺小学校 創立 100 周年を祝い、子供たちが竜禅寺小学校児童であることの喜びと誇りを感じるように記念行事を実施できれば良いと考えます。

実施にあたって、下記のように実行委員会を立ち上げ準備を進めていきたいと考えます。

【 創立 100 周年記念行事実行委員会 (候補)】

役職名	氏名(現役職)
実行委員長	北井 実香(令和 5 PTA 会長)
実行委員(会計)	石川裕一朗(令和 5 PTA 会計) (令和 3 PTA 会長)
実行委員	倉重 建朗(令和 4 PTA 会長) (令和 5 学校運営協議会長)

実行委員	青島 早苗(令和5 P T A副会長)
実行委員	高須 道男(令和5 学校運営協議会学校支援CD)
実行委員	新井 和美(令和5 学校運営協議会委員) (90周年実行委員)
実行委員	水野 敦司(令和5 校長)
実行委員	佐々木和也(令和5 教頭)
実行委員	松井 康子(令和5 教務主任)

※9月の初めに第1回の実行委員会を開催したいと思います。